

**東芝ライテック(株)鹿沼工場 サイトレポート情報**

所在地	栃木県鹿沼市さつき町1丁目1番地(鹿沼工場)
敷地面積	151,513m <sup>2</sup> 、建家面積:42,846m <sup>2</sup> 、緑化率22.0%
設立	1972年7月、従業員:626人(2014年3月現在)
主要製品	LED照明器具、蛍光灯(直管・環型)、コンパクト形蛍光灯、COB
ISO14001認証取得	1996年10月、最新更新年月:2011年10月 (ISO認証番号:EC99J2026)



**東芝ライテック(株)鹿沼分工場 サイトレポート情報**

所在地	栃木県鹿沼市深程990番地10
敷地面積	10,439m <sup>2</sup> 、建家面積:4,232m <sup>2</sup> 、緑化率30.7%
設立	1953年9月、従業員:128人(2014年3月現在)
主要製品	舞台、スタジオ大型照明調光装置、空港照明制御システム、MESL
ISO14001認証取得	2000年9月、最新更新年月:2012年9月 (ISO認証番号:EC99J2026)



**ごあいさつ**

東芝ライテック(株)鹿沼工場は、世界遺産にも登録されている《日光》の南方に位置し、工場からは男体山が望める自然豊かな中で事業を展開しています。工場では、東芝のDNAの源流である照明製品(蛍光灯・特殊電球・COB)の製造を、更に2013年4月より、旧LDF・TOLS・長井工場などの拠点再編を経て、照明用電源・樹脂・プレス板金などの要素部品加工と、照明器具組立の一貫工場として再スタートを切りました。新たなメンバーも加え、環境保全活動にも全従業員一丸となって取り組んでいます。



環境保全責任者 佐藤 健一

**2013年度の環境の主な取組み**

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム、環境保全体制の充実  
鹿沼工場:2013年4月に4工場統合による環境保全設備及び法令・条例の順守。工場規程、作業標準見直しを58件実施。
- ☆化学物質排出量の削減  
鹿沼工場:化学物質(酢酸ブチル)の排出量を2012年度比2%削減(目標187トン)。実績24%削減(145トン)
- ☆CO2排出量削減  
鹿沼工場:CO<sub>2</sub>(エネルギー)の生産高原単位を、28.77t-CO<sub>2</sub>/億円以下。実績28.61t-CO<sub>2</sub>/億円  
鹿沼分工場:CO<sub>2</sub>(エネルギー)の生産高原単位を2012年度比2%削減(目標8.82t-CO<sub>2</sub>/億円以下)。  
実績10%削減(8.04t-CO<sub>2</sub>/億円)
- ☆廃棄物ゼロエミッションの継続  
鹿沼工場:廃棄物総発生量の生産高原単位を、7.48t/億円以下。実績4.33t/億円。最終処分率は0.028%  
鹿沼分工場:廃棄物総発生量の生産高原単位を、2012年度比2%削減(目標1.45t/億円以下)。  
実績10%削減(1.33t/億円)最終処分率は0.22%
- ☆資材取引先に関する環境配慮  
鹿沼工場:取引先環境保全評価の実施(2社)、廃棄物委託先現地確認(2社)
- ☆全員参加・啓発活動の展開、地域社会との強調  
鹿沼工場:環境月間・3R月間・省エネ月間による環境啓発活動、環境ニュースの発行。地域社会への各種環境行事の参加。清掃ボランティア(3回)。

**製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介**

**LED照明器具の新商品立上げ**

マルチカラーシーリングライト



LEDシーリングライト キラキラ



LED一体型ベースライト



蛍光灯  
(直管・環型)



舞台・スタジオ  
照明器具



東芝ライテック株式会社 環境方針

東芝ライテックグループは、東芝および東芝コミュニティー・ソリューション社グループの環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 環境経営の推進

- (1) 環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
- (2) 事業活動、製品・サービスにかかわる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、環境活動を推進します。
- (3) 監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。
- (4) 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを遵守します。
- (5) 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。
- (6) グローバル企業として、東芝グループ一体となった環境活動を推進します。

2. 環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

- (1) 地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進する、積極的な環境施策を展開します。
- (2) ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。
- (3) 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、流通、販売、廃棄などすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。

3. 地球内企業として

- (1) 優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会に貢献します。
- (2) 相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

4. 東芝ライテック株式会社はスマートコミュニティー事業を通して、環境配慮都市の構築に貢献します。上記東芝グループ方針に加えて当社の事業分野である、照明商品、照明システムの製品開発、製造、販売、サービスで、持続可能なスマートコミュニティー社会実現を目指した環境経営を推進します。

- (1) 環境調和型製品（ECP）、さらには業界トップの環境性能を誇るエクセレントECPの創出・普及により、製品やシステム全体における省エネルギー、資源有効活用、有害化学物質削減を推進します。
- (2) エネルギー使用設備において管理の徹底、設備改善等を行い、電力、天然ガス等の使用量を削減し、CO<sub>2</sub>排出量を抑制します。
- (3) 水質・騒音等にかかわる施設について、管理の徹底、設備改善等を行い環境に与える影響を最少にするとともに事故等の予防措置に努めます。
- (4) 循環型社会を目指し、廃棄物の削減及びリサイクル、化学物質取扱量の削減などを図り、資源の有効活用を推進します。
- (5) 地域社会と連携し、各生産拠点で生物多様性に向けた環境活動展開し、自然との共生を図ります。

2014年6月24日

東芝ライテック株式会社  
取締役社長

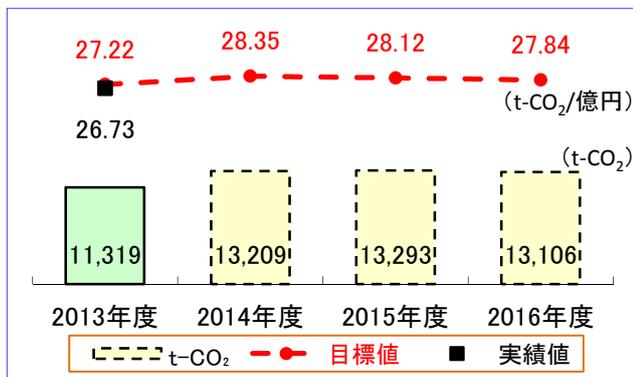
片斐 洋一

環境目的・目標

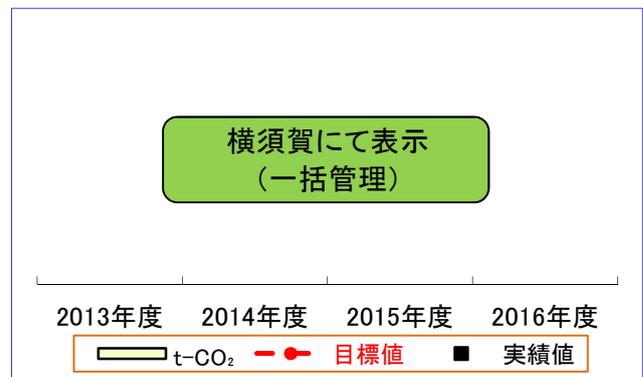
取組み項目		2014年度	2015年度	2016年度
地球温暖化防止	エネ起源CO <sub>2</sub> 総排出量原単位の削減(t-CO <sub>2</sub> /億円)	28.35	28.12	27.84
	物流CO <sub>2</sub> 総排出量原単位の改善(t-CO <sub>2</sub> /億円)	—	—	—
資源有効活用	廃棄物総発生量原単位の削減(t/億円)	3.80	3.77	3.73
	最終処分率の管理(%)	<0.5	<0.5	<0.5
	水受入量原単位の削減(千m <sup>3</sup> /億円)	0.352	0.349	0.345
化学物質管理	取扱量原単位の改善(t/億円)	0.403	0.399	0.395
生物多様性	絶滅危惧種の調査と保護、水辺ビオトープ作成	希少種調査、 ビオトープ作成	希少種の観察 ビオトープ維持	パフォーマンス の向上

環境負荷データ

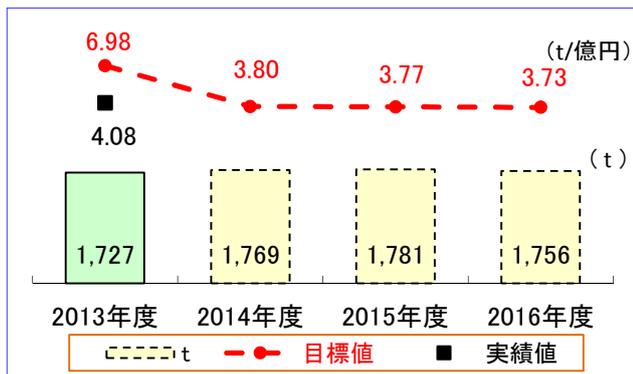
エネ起源CO<sub>2</sub>



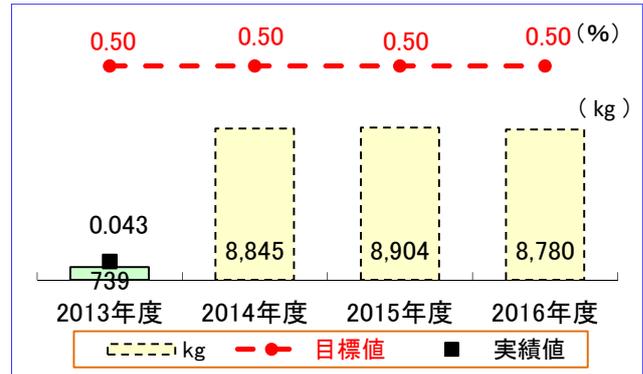
物流CO<sub>2</sub>



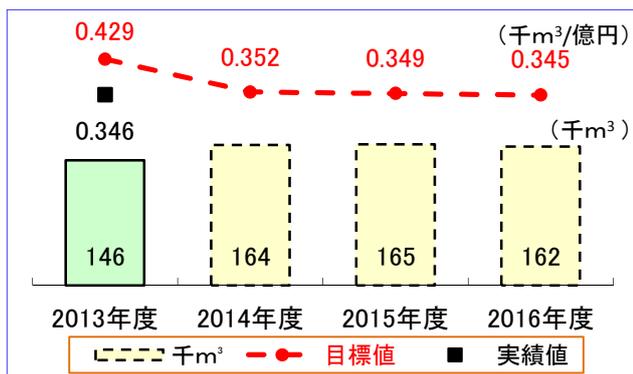
廃棄物総発生量



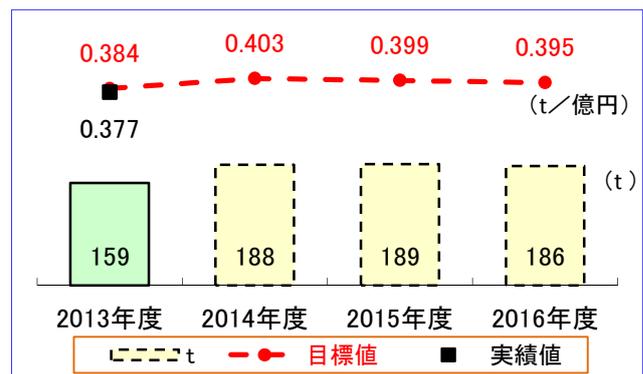
最終処分率



水受入量(地下水)



化学物質取扱量



コミュニケーションの紹介(鹿沼工場)

＜第33回 鹿沼さつきマラソンにTOSHIBAゼッケンで協賛＞

鹿沼市最大のイベント「鹿沼さつき祭り」の開催期間中に行なわれる「鹿沼さつきマラソン」。

県内外より約1万人のランナーが参加し、日光男体山を眺めながら走るコースで健脚を競います。  
このイベントで東芝はゼッケン及びパンフレットの広告を提供し協賛しています。

開催日：2013年 5月12日(日)  
開催地：栃木県鹿沼市

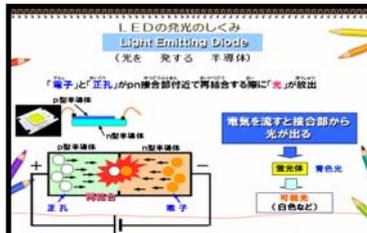


＜小学校 LED工作教室＞

鹿沼市内の石川小学校を訪問しLEDが発光するしくみについて実際に教材を用いて教えています。

(実施概要)

- ・開催日：2013年12月12日
- ・参加生徒数：28名



＜工場周辺一斉清掃＞

環境保全委員会終了後、昼休みに委員全員で工場周辺の清掃活動を行っています。

(実施概要)

- ・日時:2013年10月23日 12:00~12:20  
参加人員:15名
- ・日時:2013年11月12日 12:00~12:20  
参加人員:10名
- ・日時:2014年 2月12日 12:00~12:20  
参加人員:10名



生物多様性の取組み

指標種の選定

指標生物	指標生物の希少性
オオチゴユリ (大稚児百合)	・福島県RDB指定:絶滅危惧Ⅱ類(Bランク) ・宇都宮市自然環境基礎調査報告書:「重要種」



工場敷地内の群生の様子

<#251建屋の北側空地に約40㎡程 群生している>



群生の保護と掲示板

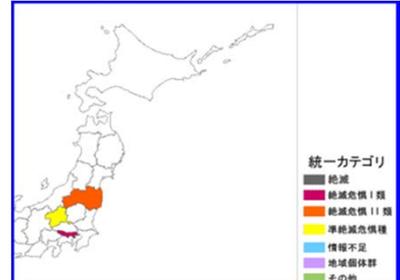
<立ち入り禁止とし植生保護。掲示板を設置し「オオチゴユリ」の概要を説明>



栃木県の植生分布



都道府県のRDB指定状況



**チゴユリ(稚児百合)/オオチゴユリ(大稚児百合)**

チゴユリ(稚児百合)

分類:ユリ科チゴユリ属

学名: *Disporum smladnum*

和名の由来: 小型の花が稚児のように可愛いから。

性状: 多年草

草丈: 20~35センチ

花期: 春(4~5月)

日本全国の山野の林内に生える、ややつむじかげんに咲く白い花の多年草です。茎の高さは20~35センチで直立し先端部分が斜めになり、普通は枝分かれません。茎の先端に、長さ1~1.5センチの白色の花を1~2個下向きにつけます(オオチゴユリは花弁がやや緑色を帯びる)。花弁は6枚で披針形、内側に3枚、外側に3枚。雄べは6本、雌しべの先はあまり裂けない。雄しべと雌しべとは長さ同くらい(オオチゴユリは雌しべが長く、先が大きく裂ける)。葉は長楕円形で互生し長さ5~7センチ、全縁で先は尖っています。葉は艶があり、裏がロウで塗ったように白みがあります。果実は球形の蒴果で直径約1センチ、黒く熟します。

